

2021年4月1日に 横浜市営交通は100周年を迎えます。



横浜市営交通は、お客様、市民のみなさまに支えられ、2021年4月1日に100周年を迎えます。1921年、路面電車でスタートし、関東大震災や空襲を乗り越え、バス、トロリーバス、地下鉄と、いつも市民のみなさまの最も身近な乗り物として、横浜の街とともに歩んできました。私たちは、この100周年を、これまで市営交通を支えてくださったお客様・市民のみなさまに感謝をお伝えする機会としたいと考えています。そして、市営交通の経営理念に立ち返り、市民のみなさまの足として、安全・確実・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足いただけるよう経営力を高め、持続的な改善に取り組むことを改めて決意し、皆さまにお約束として発信します。

1 横浜市営交通 100周年ステートメント

これまでの感謝とお約束をステートメントとしてまとめました。

100年間、私たちを走らせてきたもの、
それは子どもたちの夢です。

将来の夢、毎日の生活の中での小さな喜び、横浜の街への愛着、未来への期待
そうしたみなさまお一人おひとりの夢・希望・笑顔
心を込めて大切に運んできました。

これからの100年が希望に満ちたものでありますように
毎日が明るい光で包まれますように。

横浜市営交通は、これからも安全・安心と、子どもたちの夢を乗せ、
昼も夜も、横浜の街とともに走り続けることをお約束します。

横浜の街とともに、これまでも、これからも。



2 100周年記念事業（市営交通が主催し、令和3年3月・4月に開始する事業）

（1）100周年ありがとうメッセージの発信

ア 地下鉄ヘッドマーク掲出

【期間】令和3年3月下旬～12月下旬（予定）

【掲出先】ブルーライン（36編成）

グリーンライン（17編成）

【イメージ】ブルーライン



グリーンライン

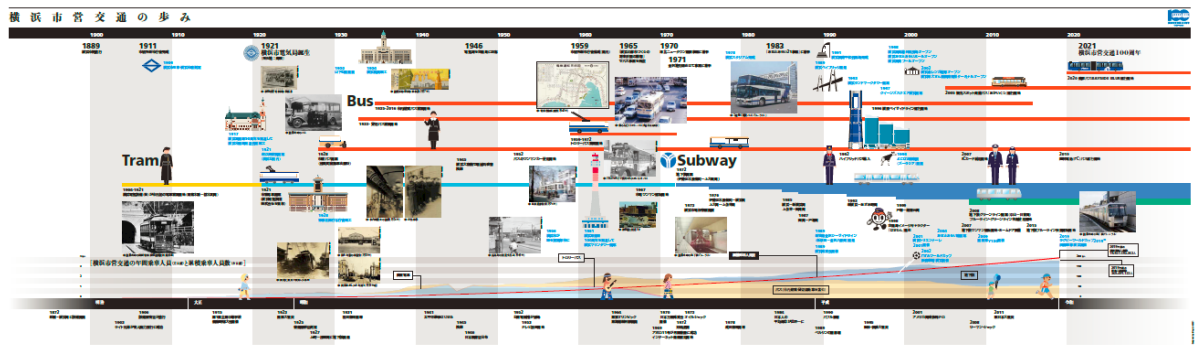


イ 市庁舎展示

【期間】令和3年3月31日～5月（予定）

【場所】横浜市庁舎2階

【内容】横浜市役所2階展示スペースで、市営交通・横浜の街の歴史を分かりやすくした大型のデザイン年表を掲出し、横浜の街と共に歩んできた市営交通の歴史をご紹介します。



ウ 100周年ギャラリートレイン（車内広告をすべて100周年関連にした電車）

【期間】令和3年4月14日～5月中旬（予定）

【運行車両】1編成

【掲出内容】懐かしい車両のポスターや、市営交通の現場を職員の日線でお伝えするドキュメント「100の一步」等を掲出します。

※運行時刻は毎日変わります。ウェブサイト「3000V形運行時刻表」でご確認ください。

<http://navi.hamabus.city.yokohama.lg.jp/koutuu/pc/diagram/SpecialTrainDiagramCalendar>

エ 100周年記念乗車券（みなとぶらりチケット）

【発売期間】令和3年4月1日～令和3年12月31日

※タイアップ企画のチケット、みなとぶらりチケットワイドを除く。

【料金（運賃）】大人：500円／小児：250円

(2) 横浜市電保存館特別展示

ア 市営交通 100 周年記念写真展

「市電の走っていた懐かしい横浜～市営交通はじまりの半世紀～（仮称）」

市民からご提供いただいた昭和 40 年代の山元町、麦田町、八幡橋、滝頭等、懐かしい横浜の街を走る市電の写真などを展示します。また、記念写真展の内容を、YouTube 市電保存館公式チャンネルで配信します。

イ 花電車の展示

近隣小学校（滝頭小学校）等の児童のみなさんに作成していただいた、市営交通の未来に向けたメッセージボード（パネル）を花電車に展示します。※参加小学校は現在調整中

3 地域連携事業

市営交通では、日ごろから沿線地域のみなさまの顔の見える関係づくりに取り組んでいます。100 周年を契機に、より地域や沿線企業のみなさまとの連携を推進し、愛され信頼される交通機関を目指します。

(1) 商店街連携

昔から市営交通とのゆかりのある「横浜橋通商店街」、「弘明寺商店街」、「戸部大通商店街」が、100 周年を祝う取組を実施してくださいました。

【連携内容】

◆横浜橋通商店街

- ・市営交通 100 周年を祝うする横断幕の掲出
- ・商店街パンフレット内に市営交通の PR を掲出
- ・市営交通 100 周年を祝う動画の制作・発信

◆弘明寺商店街

- ・商店街パンフレット内に市営交通の PR を掲載
- ・市営交通 100 周年応援商品の販売

◆戸部大通商店街

- ・市営交通 100 周年応援商品の販売

※今後も順次、沿線地域とのタイアップを進めていきます。



横浜橋通商店街に掲出されている横断幕



弘明寺商店街パンフレット

(2) 小学校連携

市営交通と同じく令和 3 年に創立 100 周年を迎える小学校と連携し、子どもたちが公共交通や街づくりについて理解を深めるため、市営交通の歴史を通じて横浜の街の移り変わりを知る学習等への協力を行います。また、市電保存館の近隣小学校との交流（花電車へのメッセージボード掲出等）を進めます。

【連携予定】

稲荷台小学校（創立 100 周年）	授業での連携（具体的な内容については調整中）
滝頭小学校（市電保存館近隣小学校）等	花電車へのメッセージボード掲出（再掲）

(3) 市立図書館 100 周年との連携

市営交通と同じく令和 3 年に 100 周年を迎える市立図書館と連携し、図書館内での市営交通の写真展示や、市営交通に関する書籍の紹介等、連携を図ります。

※具体的な連携内容については、現在調整中です。

4 横浜市営交通 100 周年特設 WEB サイト・SNS で情報発信中

100 周年については、今後も 100 年史の発行や沿線企業との連携事業等、様々な事業を展開していきます。最新情報は、順次 100 周年特設 WEB サイトや、横浜市交通局 Facebook で発信していきますので、是非ご覧ください。

【WEB サイト URL】 <https://kotsu100th.city.yokohama.lg.jp/>

【Facebook アカウント名】横浜市営バス・地下鉄（横浜市交通局）

特設 WEB サイトイメージ



Facebook イメージ



お問合せ先

(市営交通 100 周年に関すること)

交通局プロジェクト推進課長 森 香里 Tel 045-671-3672

(市電保存館での展示に関すること)

一般財団法人横浜市交通局協力会 横浜市電保存館 館長 武藤 隆夫 Tel 045-754-8505

横浜市営交通

横浜市等



1921
大正10年

4月1日 電気局誕生、市内路面電車が市営に

1928
昭和3年

11月10日 市営バス開業

1935
昭和10年

12月23日 市内遊覧バス営業開始



1945
昭和20年

5月29日 横浜大空襲で壊滅的被害（市電45両、バス53台焼失）

1946
昭和21年

5月31日 電気局を交通局に改称

1959
昭和34年

7月16日 トロリーバス営業開始



1972
昭和47年

3月31日 市電・トロリーバス全廃

12月16日 地下鉄開業（伊勢佐木長者町～上大岡）

1973
昭和48年

8月25日 横浜市電保存館オープン

1976
昭和51年

9月4日 地下鉄開業（伊勢佐木長者町～横浜、上大岡～上永谷）



1985
昭和60年

3月14日 地下鉄開業（横浜～新横浜、上永谷～舞岡）

1987
昭和62年

5月24日 地下鉄開業（舞岡～戸塚）

1993
平成5年

3月18日 地下鉄開業（新横浜～あざみ野）



1999
平成11年

8月29日 地下鉄開業（戸塚～湘南台）

2005
平成17年

3月28日 観光スポット周遊バス「あかいくつ」運行開始

2007
平成19年

12月15日 地下鉄ワンマン運転開始

2008
平成20年

3月30日 地下鉄グリーンライン開業（中山～日吉）



2015
平成27年

7月18日 地下鉄ブルーライン快速運転開始

2016
平成28年

9月30日 市内遊覧バス事業廃止

2019
令和元年

10月31日 「ピアライン」運行開始

2020
令和2年

7月23日 連節バス「BAYSIDE BLUE（ベイスайдブルー）」運行開始

2021
令和3年

4月1日

市営交通 100周年

1923
大正12年

関東大震災発生

1927
昭和2年

区制施行（鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区、磯子区誕生）

1930
昭和5年

山下公園開園

1939
昭和14年

・港北区、戸塚区誕生
・第2次世界大戦開始

1943
昭和18年

南区誕生

1944
昭和19年

西区誕生

1945
昭和20年

終戦

1948
昭和23年

金沢区誕生

1951
昭和26年

横浜市の人口100万人突破

1956
昭和31年

政令指定都市となる

1961
昭和36年

マリンタワー開業

1962
昭和37年

港の見える丘公園開園

1964
昭和39年

東京オリンピック開催

1968
昭和43年

横浜市の人口200万人突破

1969
昭和44年

港南区、旭区、緑区、瀬谷区誕生

1978
昭和53年

・大通り公園開園
・横浜スタジアムオープン

1985
昭和60年

横浜市の人口300万人突破

1986
昭和61年

栄区、泉区誕生

1989
平成元年

・横浜ベイブリッジ開通
・横浜博覧会開催

1991
平成3年

横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）オープン

1994
平成6年

青葉区、都筑区誕生

1998
平成10年

・横浜国際総合競技場オープン
・横浜みなとみらいホールオープン
・横浜国際プールオープン

1999
平成11年

よこはま動物園ズーラシア開園

2001
平成13年

横浜トリエンナーレ2001開催

2002
平成14年

・横浜赤レンガ倉庫オープン
・2002FIFAワールドカップ決勝戦等開催
・横浜港大さん橋国際客船ターミナルオープン

2009
平成21年

開国博Y150開催

2011
平成23年

東日本大震災

2019
令和元年

ラグビーワールドカップ2019決勝戦等開催